

令和5年10月吉日

会 員 各 位

一般社団法人 富山県歯科衛生士会
会 長 山 田 尚 代

令和5年度富山県歯科衛生士会研修会の開催について

謹啓 秋晴の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会の会務運営に格別のご指導ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度令和5年度研修会を下記の通り開催いたしますので、ご多用のこととは存じますが、是非ご参加下さるようご案内申し上げます。

記

- 1、開催日時 令和5年11月26日（日） 10時00分～11時30分
- 2、場 所 富山県歯科保健医療総合センター 3階ホール
- 3、研 修 会 10:00～11:30
「 超高齢化社会で歯科衛生士が果たす役割 」
— 高齢者の心身の特性 歯科衛生士が知っておくべきこと —
医療法人社団 星陵会 たちなみ歯科口腔外科クリニック
理事長 立浪 康晴 先生
- 4、会 費 無 料
- 5、日本歯科衛生士会の「在宅歯科医療の基礎・プログラム」
2 単位

＊下記の申し込み用紙で11月20日迄FAXにて申し込みください。

切り取り線

令和5年度 富山県歯科衛生士会研修会 申込書

勤 務 先	〒	住 所	☎
職 種	氏 名		

一般社団法人 富山県歯科衛生士会事務局

〒930-0085 富山県富山市丸の内1丁目8-15 余川ビル3階

☎ 076-442-8020 FAX 076-442-8028

超高齢化社会で歯科衛生士が果たす役割
～高齢者の心身の特性 歯科衛生士が知っておくべきこと～

たちなみ歯科口腔外科クリニック 立浪 康晴 先生

団塊の世代が全て 75 歳以上となる 2025 年には 75 歳以上の人口が全人口の約 18%となり、2040 年には 65 歳以上の人口が全人口の約 35%となると推計されています。更に 2040 年には高齢者の 4 人に 1 人は認知症と予測されています。「超高齢化社会を迎えた我が国で、安全な歯科医療を行うためには歯科衛生士の果たす役割は大きい」と考えます。

今回、認知症を含む高齢者の心身の特性、呼吸・循環生理学、更には安全な歯科治療を行うために必須となるバイタルサインについて解説します。

この研修会の前週に日本歯科医学会医療職連携委員会フォーラム「歯科衛生士のバージョンアップ～認定歯科衛生士の資格を活かす～」が開催され、地域支援型多機能歯科診療所(1.5 次歯科診療所)構想を含めた歯科衛生士活躍の可能性について、「2040 年を見据えた歯科医療提供における認定歯科衛生士の活躍の可能性」と題してお話しさせていただきます。これを聞いていただくと専門性を持った歯科衛生士の活躍の場が広がっていることや今回の講演会の意義がご理解いただけると思うので、お時間の許す方のご試聴いただけましたら幸いです。

[学歴] 1994 年 東北大学 歯学部 卒業
 1998 年 東北大学大学院 歯学研究科 博士課程 修了 (歯科麻酔学専攻)
 2004 年 富山医科薬科大学 (現 富山大学) 医学部 大学院 (口腔外科学専攻)

[職歴] 1998 年 東北大学歯学部附属病院 歯科麻酔科 勤務
 1999 年 国立仙台病院 (現・仙台医療センター) 口腔外科 勤務 (麻酔科兼務)
 2004 年 立浪歯科医院 継承 たちなみ歯科口腔外科クリニック 開院
 2005 年～ 東北大学 講師 (非常勤) (歯科麻酔学)
 2020 年～ 東北大学 臨床教授
 2023 年 スマイルデザイン歯科クリニック呉羽 開院

[資格] 博士(歯学) 東北大学大学院
 日本歯科麻酔学会 歯科麻酔専門医 認定医
 日本障害者歯科学会 認定医指導医 専門医 認定医

[学会活動] 日本歯科医学会 新歯科医療提供検討委員会 委員長 (2021～2023)
 日本歯科麻酔学会 理事 代議員
 認定衛生士審査委員会 委員長
 登録医審査委員会 委員長
 日本障害者歯科学会 代議員
 日本口腔インプラント学会 代議員
 日本顎顔面インプラント学会 運営審議委員
 北信越障害者歯科臨床研究会 幹事